

平成 25 年度 富岡看護専門学校 自己点検・自己評価

平成 25 年度の重点目標である卒業時の到達状況を分析するため、卒業生の看護実践能力を反映すると考える 3 年次の授業「看護技術の総合的評価」において、看護技術の評価を実施した。その結果を報告する。

卒業時の看護技術評価

1 評価対象：3 年生（30 回生） 27 名

2 実施期間：平成 26 年 2 月 授業「看護技術の総合的評価」

3 評価方法

技術評価項目として卒業後に臨床で関わることの多い患者 2 事例（a.苦痛を伴う終末期がん患者の全身清拭と更衣、b.片麻痺のある患者の移送と排泄援助）を選定し、学生は 2 事例について技術演習した後に、教員が指示した事例で技術評価を受けた。

4 結果

1)看護技術評価

a.苦痛を伴う終末期がん患者の全身清拭と更衣

学生 14 名を対象に技術評価を実施した。教員の評価で 60 点以上を合格とし、全員が合格した。

b.片麻痺のある患者の移送と排泄援助

学生 13 名を対象に技術評価を実施した。教員の評価で 60 点以上を合格とし、全員が合格した。

5 まとめ

卒業後に臨床で関わることの多い患者 2 事例を選定し、看護技術評価を実施した。全員の学生が合格した結果から、当校の学生は卒業時に必要な看護実践能力を備えていると評価できる。